

商工会地域の景況感は悪化傾向。特に、サービス業、小売業、建設業は厳しさが増す！

—2021年7月～9月期 中小企業景況調査報告書概要—

日銀が10月1日に発表した9月の企業短期経済観測調査（短観）によると、企業の景況感を示す業況判断指数（D・I）は、大企業・製造業がプラス18となり、6月の前回調査より4ポイント改善した。2020年6月にはマイナス34まで落ち込んでいたが、その後は5四半期連続で改善している。業種的には、IT需要が後押しして電機機械や業務用機械などが好調だったが、自動車は東南アジアの感染拡大の影響による部品の供給制約で悪化している。大企業・非製造業はプラス2で、前回と比べて1ポイント改善した。製造業と同様に5四半期連続で改善しているものの、コロナ禍前の水準には及んでいない。オリンピック・パラリンピックの警備需要などで対事業所サービスが改善したが、緊急事態宣言が影響し、レジャー施設など対個人サービスは悪化した。中小企業の業況判断指数は、製造業が4ポイント改善しマイナス3、非製造業は1ポイント悪化しマイナス10となつて製造業、非製造業ともにマイナス圏にあり、緊急事態宣言が長引いたことで特に小売業の悪化幅が大きい。原材料などのコスト高も中小企業にはより大きく影響する。

3か月後の先行きの見通し（2021年12月予測）は、大企業・製造業がプラス14と今期より4ポイントの悪化を見込む。これまでコロナ禍からの回復を牽引してきた海外需要の減速による影響、半導体不足や原材料高騰なども影響している。非製造業はプラス3と今期より1ポイントの上昇を見込む。緊急事態宣言解除で対個人サービスの改善期待が見込まれる。中小企業では製造業が今期より1ポイント悪化しマイナス4と予測、非製造業は3ポイント悪化しマイナス13を予測しており、製造業と非製造業ともに悪化すると見

込んでいる。

内閣府が2021年10月15日に発表した10月の月例経済報告において、「景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、そのテンポが弱まっている。」との総括判断を示し、先月からの判断を据え置きした。項目別では「輸出」が自動車の弱さなどもあり「増勢は鈍化している」とし7ヶ月ぶりに下方修正した。「個人消費」は「弱い動きとなっている」とし、先月からの判断を据え置いたが、緊急事態宣言の解除後には「外食の支出に上向きの動き」が見られるとし、明るい兆しもうかがえる。

商工会地域の景況調査においては、今期（2021年7月～9月）の業況に関するD・I値は、製造業だけが、前期のマイナス23.3からマイナス18.7として4.6ポイント改善した。しかし、建設業はマイナス8.3から25.1ポイント悪化しマイナス33.4、小売業はマイナス43.3から9.2ポイント悪化しマイナス52.5、サービス業はマイナス38.8から14.1ポイント悪化しマイナス52.9となっている。

来期（2021年10月～12月期）の業況予測は、全体的には今期実績と大きな変化はない。今期実績で改善している製造業は来期も8.4ポイント改善させマイナス10.3を予測。今期悪化したサービス業は4.9ポイント改善しマイナス48.0を予測、建設業は今期実績と横ばいでマイナス33.4を予測、小売業においては今期実績よりも0.1とわずかであるが悪化しマイナス52.6を予測している。

（中小企業診断士 橋本大輔）

業界天気動向図

項目 年 月 業種	売上				採算（経常利益）				資金繰り			
	2020	2021			2020	2021			2020	2021		
	10 月	1 月	4 月	7 月	10 月	1 月	4 月	7 月	10 月	1 月	4 月	7 月
製造業												
建設業												
小売業												
サービス業												

各項目については次により表示した。

区分	増加	やや増加	横ばい	やや減少	減少	大幅に減少
	好転	やや好転		やや悪化	悪化	非常に悪化
D I 値（前年同期比）	20.1～	5.1～20.0	5.0～△5.0	△5.1～△20.0	△20.1～△35.0	△35.1～
表示	快晴	晴れ	曇り	小雨	雨	豪雨

今期直面している経営上の問題点

（数値の左は前期構成比、右は当期構成比を記す）

業種	1位	2位	3位	4位	5位
製造業	1位にあげる問題点 需要の停滞	生産設備の不足・老朽化	原材料価格の上昇	従業員の確保難	その他
前期	24.1	13.8	10.3	3.4	10.3
今期	30.0	20.0	16.7	13.3	6.7
建設業	1位にあげる問題点 民間需要の停滞、従業員の確保難、		3位 材料価格の上昇	4位 官公需要の停滞	5位 材料の入手難、請負単価の低下、上昇難
前期	—	20.0	17.4	13.0	—
今期	—	20.0	16.0	12.0	8.0
小売業	1位にあげる問題点 需要の停滞、大型店・中型店の進出による競争の激化		3位 購買力の他地域への流出、その他		5位 仕入単価の上昇
前期	—	17.9	12.8	12.8	2.6
今期	—	17.9	12.8	12.8	10.3
サービス業	1位にあげる問題点 需要の停滞	2位 店舗施設の狭隘・老朽化、その他		4位 利用者ニーズの変化、材料等仕入単価の上昇	
前期	28.6	—	14.3	—	6.1
今期	42.9	—	14.3	—	6.1